

令和3年度

山梨県学力把握調査結果の 概要

山梨県教育委員会

1 調査の目的

- ・節目の学年における生徒の学習の定着状況を把握するため、調査を実施し、調査結果の分析を通して、早い段階から学習内容の不十分な理解を解消するなど、きめ細かな指導に役立てる。
- ・授業における指導方法や学校、家庭、地域における学習環境の改善に資する。
- ・全国と本県を比較・分析し、授業改善につなげる。

2 調査の対象等

実施学年	対象生徒数	対象教科	調査問題の範囲
中学校第2学年	6, 250 人	国語・数学・英語	中学校第1学年までに学習した内容

3 調査日時

実施日	実施時間		
令和3年 5月27日(木)	国語	数学	英語
	45分	45分	45分

※全国学力・学習状況調査と同一日に実施

4 各教科の主な結果

教科	設問数	全国との差
国語	28問	1.1
数学	27問	0.1
英語	33問	1.7

※調査は全国を対象として約10万人が実施

5 各教科の概要

【国語】

「言語についての知識・理解・技能」はよくできている。一方で、「書く力」「読む力」において、文章の内容について自分の考えを記述することに課題がある。

【数学】

4領域すべてが、全国正答率と同程度である。「関数」領域は正答率が低く、課題がある。問題形式では、記述式の正答率が低く、課題がある。

【英語】

「聞くこと」「読むこと」の領域において「理解する力」の正答率が高い。一方で、文構造や文法事項、単語の知識等における正確さの部分で課題がある。

【意識調査】

3教科とも肯定群の割合が全国平均を上回っている。

6 調査に基づく結果を踏まえた取組

①結果分析・公表

- ・学力調査を踏まえた授業改善のための説明会

(6月29日：小学校、7月1日：中学校 実施済み)

教諭等に向け、授業改善のための説明会を実施した。「授業改善指導資料」を配付し授業改善への具体例を示した。9月中に解説動画を配信し、授業改善の促進を図る。

- ・学力向上フォーラム（8月20日実施）

調査の分析結果を公表し、本県生徒の学力調査における結果と課題を共有する。

- ・山梨大学との連携

山梨大学と連携し、山梨県学力把握調査及び全国学力・学習状況調査結果について、専門的見地から助言を得、分析や各種資料に反映する。

②研修会・学校訪問

- ・分析結果を反映させた研修や学校訪問による指導等を行う。学校訪問の際には、授業観察や研究会での様子を踏まえ、適切な指導を行う。

③「ピックアップ問題」の作成と配信

- ・山梨県学力把握調査及び全国学力・学習状況調査の結果を受け、課題のある学習内容についてのピックアップ問題を作成し、確実な学力の定着を目指す。
- ・10月中に配信し、研修会や学校訪問等で活用を促す。

④Web分析システムの利用した個別学習の推進

- ・Web分析システムの利用を促し、個別の学習課題の把握や個に合った教材の提供、家庭学習の推進を図る。

令和3年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・国語

実施生徒数	設問数	全国との差
5, 847人	28問	1.1

分類		区分	設問数 (問)	全国との差
問題の内容	基礎 応用	基礎	24	1.2
		応用	4	1.2
	領域	音声言語	5	-0.1
		説明的文章	7	0.7
		文学的文章	4	1.4
		言語事項	12	1.8
評価の 観点	話す力・聞く力	5	-0.1	
	書く力	5	1.0	
	読む力	9	1.0	
	言語についての知識・理解・技能	12	1.8	
単元別	話の内容の聞き取り	5	-0.1	
	説明的文章の内容・要旨の理解	3	0.1	
	説明的文章の構成・展開	1	0.9	
	文学的文章の内容・主題の理解	2	1.5	
	心情の理解	2	1.1	
	漢字の読み書き	6	0.9	
	漢字・語句の知識	2	4.3	
	文法・敬語・表現	4	2.0	
	活用	3	1.3	
問題形式	選択式	16	0.9	
	短答式	9	1.5	
	記述式	3	1.2	

通し 番号	設問内容	基礎応用	出題形式	全国との 差
1	話し合いのテーマを選ぶ	基礎	選択式	0.0
2	宮田さんの意見の述べ方を選ぶ	基礎	選択式	0.3
3	森田さんの意見の内容を選ぶ	基礎	選択式	0.2
4	手塚さんと大石さんの意見の述べ方を選ぶ	基礎	選択式	0.7
5	司会者の話し合いの進め方を選ぶ	基礎	選択式	-1.4
6	漢字の読み(資料を丹念に読み込む。)	基礎	短答式	6.5
7	漢字の読み(友達に頼られる。)	基礎	短答式	0.0
8	漢字の読み(優勝候補との実力差を悟る。)	基礎	短答式	0.2
9	漢字の書き(アジア諸国とのぼうえきが盛んだ。)	基礎	短答式	5.3
10	漢字の書き(ひたいに汗が光る。)	基礎	短答式	-5.1
11	漢字の書き(わたゆきが降る。)	基礎	短答式	-1.0
12	歴史的かなづかいを現代かなづかいに直す	基礎	短答式	4.6
13	正しく文節に分けているものを選ぶ	基礎	選択式	0.7
14	正しく単語に分けているものを選ぶ	基礎	選択式	2.4
15	正しい部首名を選ぶ	基礎	選択式	4.2
16	接続詞の働きを選ぶ	基礎	選択式	0.2
17	図の内容と合っているものを選ぶ	基礎	選択式	-1.9
18	段落の役割を正しく説明しているものを選ぶ	基礎	選択式	0.9
19	文章の内容をまとめた文の空欄に入る言葉を書き抜く	基礎	短答式	1.9
20	文章についてのまとめの空欄に入る言葉を書く	応用	記述式	0.1
21	文章の表現の特徴として適切なものを選ぶ	基礎	選択式	1.5
22	登場人物の心情について説明している部分を書き抜く	基礎	短答式	1.6
23	登場人物の心情を選ぶ	基礎	選択式	1.5
24	登場人物の心情をまとめた表の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式	0.8
25	漢字の部首を選ぶ	基礎	選択式	4.3
26	メモの原稿の特徴を選ぶ	基礎	選択式	0.3
27	意見文の原稿の特徴を選ぶ	応用	選択式	0.9
28	意見文の原稿の空欄に入る言葉を書く	応用	記述式	2.6

【正答率が低い問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
24	応用	記述式	0.8
設問内容	登場人物の心情をまとめた表の空欄に入る言葉を書く		
課題及び授業改善の手立て	「読むこと」の領域において、登場人物の心情の理解に課題がみられる。 ⇒文学的な文章の学習において、言葉を手がかりにしながら文脈をたどり、登場人物の相互関係、心情の変化、行動や情景の描写などに注意しながら読むように指導することが大切である。		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
28	応用	記述式	2.6
設問内容	意見文の原稿の空欄に入る言葉を書く		
課題及び授業改善の手立て	「読むこと」及び「書くこと」の領域において、資料から読み取った内容を根拠として、自分の考えを書くことに課題がみられる。 ⇒説明的な文章の学習において、資料などの、いくつかの情報の中から、自分の考えを説明する上で根拠となる情報を選んで説明することや、その情報が自分の考えを支える上で適切かどうかを考えることを指導することが大切である。		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
26	基礎	選択式	0.3
設問内容	メモの原稿の特徴を選ぶ		
課題及び授業改善の手立て	「読むこと」の領域において、目的に応じて、文章の特徴を捉えることに課題がみられる。 ⇒文章全体において中心となる内容を明らかにした上で、その内容について、比較や分類、関連付けなどの情報の整理の仕方に基づいて、まとめていく指導をすることが大切である。		

【全国平均と差がある問題 上位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
6	基礎	短答式	6.5
設問内容	漢字の読み(資料を丹念に読み込む。)		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
9	基礎	短答式	5.3
設問内容	漢字の書き(アジア諸国とのぼうえきが盛んだ。)		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
12	基礎	短答式	4.6
設問内容	歴史的かなづかいを現代かなづかいに直す		

【全国平均と差がある問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
10	基礎	短答式	-5.1
設問内容	漢字の書き（ひたいに汗が光る。）		
課題及び授業改善の手立て	<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 ウ 漢字に関する事項（旧学習指導要領）」の領域において、漢字を書くことに課題がみられる。</p> <p>⇒日常の学習や生活の中でも、必要に応じて辞書などを活用して漢字の意味や用法を確認し、漢字の正しい読み書きを行う態度と習慣を養うことが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
17	基礎	選択式	-1.9
設問内容	図の内容と合っているものを選ぶ		
課題及び授業改善の手立て	<p>「読むこと」の領域において、文章の内容・要旨の理解に課題がみられる。</p> <p>⇒説明的な文章の学習において、段落の要点や文章の要旨を捉える中で、文章中で用いられている図や表が本文にどのように関わっているのかを考える学習を設定していくことが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
5	基礎	選択式	-1.4
設問内容	司会者の話し合いの進め方を選ぶ		
課題及び授業改善の手立て	<p>「話すこと・聞くこと」の領域において、話の内容の聞き取りに課題がみられる。</p> <p>⇒「話すこと・聞くこと」の学習において、司会の進め方や話し合いの記録の仕方などを確認し、話題や方向を的確に捉え、自分の考えをもちながら参加するよう指導することが大切である。</p>		

【国語の学習に関する意識調査 結果 全国との差(ポイント)】

質問 番号	質問内容	よくあてはまる	ややあてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	質問したりアドバイスし合ったりして 思いや考えを伝え、先生や友だち、地 域の人と進んで交流しようとしてい る。	2.9	2.5	-2.8	-1.4
2	友だちが書いた文章や話したことを参 考にして、自分にはない新しい考えや 自分とは違う考えをもとうとしてい る。	6.3	-0.7	-3.4	-0.9
3	自分が書いた文章や話すときの原稿を 見直して、理由が書けているか、も との文章を踏まえているか、構成がし っかりしているかななどを振り返って いる。	4.6	-0.1	-1.8	-1.2
4	言葉を選んだり工夫して使ったりし て、きめ細かな心の様子や情景を伝え ようとしている。	5.2	0.1	-3.1	-0.7
5	本で読んだことを参考にして、学校や 家庭の学習や生活の場面で、より良く なるよう工夫している。	4.9	0.0	-1.4	-1.7
6	敬語や丁寧語に、どのような心が込め られているかを考えている。	8.3	-3.5	-2.4	-0.5
7	はっきりと正確に伝わるように、違う 言葉を使ったり文章を書き直したりし ている。	6.2	-0.8	-2.8	-0.7

令和3年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・数学

実施生徒数	設問数	全国との差
5, 850人	27問	0.1

分類		区分	設問数 (問)	全国との差
問題の内容	基礎 応用	基礎	22	0.2
		応用	5	-0.1
	領域	数と式	11	0.6
		図形	5	0.5
		関数	7	-0.7
		資料の活用	4	-0.4
評価の 観点	知識・理解	12	-0.1	
	技能	11	0.4	
	数学的な考え方	4	-0.4	
単元別	正の数と負の数	2	-0.1	
	文字を用いた式	3	2.3	
	方程式	2	0.0	
	方程式の利用	2	-0.2	
	平面図形	2	1.8	
	空間図形	3	-0.3	
	比例・反比例	5	-0.6	
	資料の活用	4	-0.4	
	活用	4	-0.4	
問題形式	選択式	9	-0.5	
	短答式	16	0.5	
	記述式	2	-0.3	

通し 番号	設問内容	基礎応用	出題形式	全国との 差
1	ある数より大きい数を答える	基礎	短答式	-1.3
2	正の数・負の数の乗法・除法を含む計算をする	基礎	短答式	1.2
3	文字式で表す	基礎	選択式	2.6
4	文字式の加減計算をする	基礎	短答式	6.5
5	方程式を解く	基礎	短答式	-0.2
6	比例式を解く	基礎	短答式	0.3
7	平行移動を利用して問題を解く	基礎	短答式	1.6
8	コンパスと定規で、三角形の高さを表す線分を作図する	基礎	短答式	2.3
9	面と平行な辺の数を答える	基礎	短答式	0.4
10	投影図で示された立体を選ぶ	応用	選択式	0.6
11	展開図から三角柱の体積を求める	基礎	選択式	-1.9
12	双曲線上の点を求める	基礎	選択式	-0.2
13	比例か反比例かを判断し、比例定数を求める	基礎	短答式	-0.3
14	比例のグラフをかく	基礎	短答式	-1.8
15	反比例のときの対応する値を求める	基礎	短答式	-0.2
16	反比例の式から値を求める	基礎	短答式	-0.9
17	データの範囲を求める	基礎	選択式	-0.9
18	データの平均値を求める	基礎	短答式	0.9
19	中央値が入っている階級を選ぶ	基礎	選択式	-0.8
20	相対度数について正しいものを選ぶ	基礎	選択式	-0.8
21	文字式の大小関係を正しく示したものを選ぶ	基礎	選択式	-2.2
22	文字式が表す量について、正しいものを選ぶ	基礎	選択式	-1.1
23	方程式の空欄に当てはまる式を入れ、答えを求める	基礎	短答式	0.6
24	数量関係を読み取って方程式で状況を正しく表す	応用	短答式	-0.3
25	方程式を利用して、値を求める	応用	記述式	0.1
26	比例を利用して、時刻を求める	応用	短答式	-0.4
27	比例を利用して計算し、自分の考えを表す	応用	記述式	-0.7

【正答率が低い問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
25	応用	記述式	0.1
設問内容	方程式を利用して、値を求める		
課題及び授業改善の手立て	<p>「A 数と式」領域において、方程式を利用して値を求めることに課題がみられる。</p> <p>⇒具体的な場面における問題を一元一次方程式を活用して解決できるようにするためには、以下の①～④のような一連の活動を行うことを通して、方程式を活用し問題を解決する方法を理解できるように指導する必要がある。</p> <p>① 求めたい数量に着目して、それを文字で表す。</p> <p>② 問題の中の数量やその関係から、二通りに表される数量を見だし、文字を用いた式や数で表す。</p> <p>③ それらを等号で結んで方程式をつくり、その方程式を解く。</p> <p>④ 求めた解を問題に即して解釈し、問題の答えを求める。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
27	応用	記述式	-0.7
設問内容	比例を利用して計算し、自分の考えを表す		
課題及び授業改善の手立て	<p>「C 関数」領域において、比例を利用し、それをもとに自分の考えを表すことに課題がみられる。</p> <p>⇒二つの数量関係を表、式、グラフで表し、その関係が比例、反比例であることが理解できるように指導する必要がある。その上で、二つの数量の変化や対応について様々な特徴を捉え、表、式、グラフを用いて説明する活動を取り入れることが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
24	応用	短答式	-0.3
設問内容	数量関係を読み取って方程式で状況を正しく表す		
課題及び授業改善の手立て	<p>「A 数と式」領域において、数量関係を読み取って方程式で状況を正しく表すことに課題が見られる。</p> <p>⇒一元一次方程式を利用して問題を解決することができるようにするために、数量や数量の関係を文字を用いた式で表す活動や文字を用いた式の意味を読み取る活動を取り入れることが大切である。</p>		

【全国平均と差がある問題 上位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
4	基礎	短答式	6.5
設問内容	文字式の加減計算をする		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
3	基礎	選択式	2.6
設問内容	文字式で表す		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
8	基礎	短答式	2.3
設問内容	コンパスと定規で、三角形の高さを表す線分を作図する		

【全国平均と差がある問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
21	基礎	選択式	-2.2
設問内容	文字式の大小関係を正しく示したものを選ぶ		
課題及び授業改善の手立て	<p>「A数と式」領域において、文字式を利用して大小関係を表すことに課題がみられる。</p> <p>⇒不等号を用いて数量の大小関係を式に表す活動や不等号を用いた式の意味を読み取る活動を取り入れることが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
11	基礎	選択式	-1.9
設問内容	展開図から三角柱の体積を求める		
課題及び授業改善の手立て	<p>「B図形」領域において、展開図から三角柱の体積を求めることに課題がみられる。</p> <p>⇒空間図形において、その見取図、展開図、投影図を用いて図形の各要素の位置関係を調べ、論理的に考察できるように指導することが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
14	基礎	短答式	-1.8
設問内容	比例のグラフをかく		
課題及び授業改善の手立て	<p>「C関数」領域において、比例のグラフをかくことに課題がみられる。</p> <p>⇒比例のグラフについては、変域が負の数まで拡張された上で、原点を通る直線であることを理解し、比例定数aの値によってどのようにグラフが変わるかを指導することが大切である。</p>		

【数学の学習に関する意識調査 結果 全国との差(ポイント)】

質問 番号	質問内容	よくあてはまる	ややあてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	数学を使うと、複雑な問題でも簡単な式で表現できたり、わからない値が求められたりして便利だと思う。	1.6	0.4	-0.2	-0.8
2	解き方がわからない問題でも、これまでに学習したことを活用して、論理的に少しずつ解こうとしている。	4.5	1.3	-3.5	-1.2
3	新しい問題を解くときに、これまでに習ったことをどうやって使えば解けそうか、考えるようにしている。	6.0	-0.7	-3.3	-0.9
4	アンケート結果をもとに自分たちで結果をまとめたり考察したりするときには、統計の考え方を生かしている。	2.8	4.4	-4.7	-1.4
5	文章題で求められていることを、式に正しく表すことができたかどうかを振り返って検討するようにしている。	4.8	2.1	-4.0	-1.6
6	1つの問題について、これまで習ったことを工夫して使えば、いろいろな解き方があると気づくことがある。	4.7	1.5	-3.1	-1.7
7	問題を解いた後で、もう一度解き方を振り返って、良いところと間違っているところやもっと工夫ができることを見つけ出して、より良い解き方を考えるようにしている。	5.2	0.9	-3.1	-1.6

令和3年度 山梨県学力把握調査結果の分析 中学校第2学年・英語

実施生徒数	設問数	全国との差
6,005人	33問	1.7

分類		区分	設問数 (問)	全国との差
問題の内容	基礎 応用	基礎	23	1.4
		応用	10	2.2
	領域	聞くこと	10	1.1
		読むこと	10	2.1
		書くこと	13	1.7
評価の 観点		理解する力	20	1.6
		表現する力	4	2.3
		言語や文化の知識・理解	9	1.5
単元別		リスニング (絵や図表の選択)	2	2.0
		リスニング (質問に答える)	5	1.0
		リスニング (英文選択)	3	0.8
		読解問題(下線部の問い)	1	3.1
		読解問題 (英問英答)	1	2.9
		読解問題 (概要把握)	3	1.8
		読解問題 (情報検索)	2	1.5
		読解問題 (空所補充)	3	2.2
		語順整序問題	4	1.1
		語彙・語法問題	5	1.8
		英作文(空所補充)	2	1.4
		活用	2	3.1
問題形式		選択式	22	1.7
		短答式	6	0.8
		記述式	5	2.4

通し 番号	設問内容	基礎応用	出題形式	全国との 差
1	絵に合う状況(～の下)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	1.0
2	絵に合う状況(遊泳禁止)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	0.5
3	絵に合う状況(誕生日)を表す英文を聞き取る	基礎	選択式	0.8
4	質問(What ～)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	-0.3
5	質問(Can I ～)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	2.0
6	質問(Whose ～)を聞いて適切な答えを選ぶ	基礎	選択式	0.5
7	英文と質問を聞いて適切な答えの絵(時間割)を選ぶ	基礎	選択式	1.9
8	英文と質問を聞いて適切な答えの絵(したこと)を選ぶ	基礎	選択式	2.2
9	図表を見ながら対話と質問を聞き適切な学校行事を選ぶ	基礎	選択式	1.8
10	図表を見ながら対話と質問を聞き適切な学校行事を選ぶ	基礎	選択式	1.5
11	日本文の内容に合う単語(September)を書く	基礎	短答式	-3.1
12	日本文の内容に合う単語(brother)を書く	基礎	短答式	3.5
13	three のあとに続く複数形 oranges を選ぶ	基礎	選択式	0.1
14	動詞の過去形(studied)を選ぶ	基礎	選択式	3.6
15	主語が複数の場合の be 動詞(are)を選ぶ	基礎	選択式	4.6
16	when と一般動詞の疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	2.9
17	助動詞 can を用いた疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	-0.5
18	一般動詞の否定の命令文を正しい語順で表す	基礎	短答式	6.0
19	How many の疑問文を正しい語順で表す	基礎	短答式	-3.9
20	Are you hungry?に対する応答文を書く	応用	記述式	1.2
21	応答文から、レストランに行く提案をする文を書く	応用	記述式	1.7
22	質問への答えを書いてチャットのやり取りを完成させる	応用	記述式	2.0
23	質問への答えを書いてチャットのやり取りを完成させる	応用	記述式	4.3
24	英語のちらしを読み、質問内容に合うものを選ぶ	基礎	選択式	1.4
25	英語のちらしを読み、質問内容に合うものを選ぶ	基礎	選択式	1.5
26	英語のブログを読み、適切な題名を選ぶ	応用	選択式	0.7
27	アンケート結果と会話を読み、空所に入る語を選ぶ	基礎	選択式	1.5
28	アンケート結果と会話を読み、内容が一致する文を選ぶ	応用	選択式	1.5
29	英文を読み、it が表す語句を選ぶ	基礎	選択式	3.1
30	英文を読み、内容が一致する文を選ぶ	応用	選択式	3.0
31	英文をまとめた文を読み、空所に入る語句を選ぶ	応用	選択式	4.0
32	英文をまとめた文を読み、空所に入る語句を選ぶ	応用	選択式	1.2
33	英文を読み、英語の質問に英語で答える	応用	記述式	2.9

【正答率が低い問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
33	応用	記述式	2.9
設問内容	英文を読み、英語の質問に英語で答える		
課題及び授業改善の手立て	<p>「読むこと」の領域において、英文の内容を問うような質問に対して、英語で書いて答えることに課題がみられる。” Where does Aoi take pictures of her dog?” という質問に対して、主語と動詞を含む6語以上の英文で答えるように指定されている問題である。文構造や文法事項を理解した上で、正確な文の形で質問の答えを書くことに課題がみられる。</p> <p>⇒質問に対して書いて答え、書いた英文の正確さをグループ等で確認し、間違いに気付かせ修正させるような活動を通して、指導することが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
21	応用	記述式	1.7
設問内容	応答文から、レストランに行く提案をする文を書く		
課題及び授業改善の手立て	<p>会話の流れから、レストランに相手を誘う表現を書いて答える問題で、「書くこと」の領域において、会話の流れに沿って英文を書くことに課題がみられる。</p> <p>⇒ここではこのように会話の流れを読み取り、その内容をもとにふさわしい文を書いて表現する複数の技能を統合させた力を問う活動については、普段から意識して授業に取り入れて指導することが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
32	応用	選択式	1.2
設問内容	英文をまとめた文を読み、空所に入る語句を選ぶ		
課題及び授業改善の手立て	<p>中学生のアオイが大切にしているものについて書いた日常的な話題をテーマにした長めの英文の概要を把握し、簡潔にまとめた内容の（ ）に当てはまる語を選ぶ問題で、「読むこと」の領域において、英文の内容を簡潔にまとめることに課題がみられる。</p> <p>⇒登場人物などについての情報を時系列で整理しながら、英文の概要を把握する活動を通して、読解力を身に付けさせるための指導をすることが大切である。</p>		

【全国平均と差がある問題 上位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
18	基礎	短答式	6.0
設問内容	一般動詞の否定の命令文を正しい語順で表す		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
15	基礎	選択式	4.6
設問内容	主語が複数の場合の be 動詞 (are) を選ぶ		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
23	応用	記述式	4.3
設問内容	質問への答えを書いてチャットのやり取りを完成させる		

【全国平均と差がある問題 下位3問】

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
19	基礎	短答式	-3.9
設問内容	How many の疑問文を正しい語順で表す		
課題及び授業改善の手立て	<p>「言語や文化の知識・理解」の領域において、疑問詞を用いた疑問文を正しい語順で表すことについて課題がみられる。” How many sisters do you have?” と並べ替える問題だが、疑問詞＋名詞で始まる文の形を理解していない。この形の文は小学校外国語の段階から何度も話して聞いて、やり取りの中で使ってきている表現にも関わらず、書いたり並べ替えたりすることになると経年的に課題がみられる。</p> <p>⇒やり取りをした後に話したことや聞いたことなどを書き、その正確さを確かめる場面を通して、指導することが大切である。</p>		
通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
11	基礎	短答式	-3.1
設問内容	日本文の内容に合う単語 (September) を書く		
課題及び授業改善の手立て	<p>「言語や文化の知識・理解」の領域において、日本文の内容に合う単語を書くような語彙力を問う問題において課題がみられる。「わたしの誕生日は9月8日だ。」のメモをもとに、” My birthday is () 8.” の () 内に、” September” を書く問題である。日付や誕生日については、小学校外国語の段階からよく話したり聞いたりしてきている内容であり、9月を音声としては認識し理解してはいるが、音声と文字を一致させて書く際の語彙力という知識の点において、課題がみられる。</p> <p>⇒習った単語を、話すことや書くことを通して何度も繰り返し使用できるような場面を設定し、語彙力を高めるための指導をすることが大切である。</p>		

通し番号	基礎応用	出題形式	全国との差
17	基礎	短答式	-0.5
設問内容	助動詞 can を用いた疑問文を正しい語順で表す		
課題及び授業改善の手立て	<p>「言語や文化の知識・理解」の領域において、助動詞を用いた疑問文を正しい語順で表すことについて課題がみられる。” Can you read it?” と、生徒たちが比較的慣れ親しんでいる助動詞 can の疑問文の形で答える場面なのだが、すぐ後の”?” や” No.” に注意を払わず、肯定文の形の “You can read it.” と答えてしまう特徴的な間違いが多かった。文構造については理解しているが、会話の前後の流れをしっかりと捉えて理解するという点において課題がみられる。</p> <p>⇒普段の授業で、会話中における表現の適切さや正確さを確認できるような場面を通して、指導することが大切である。</p>		

【英語の学習に関する意識調査 結果 全国との差(ポイント)】

質問 番号	質問内容	よくあてはまる	ややあてはまる	あまり あてはまらない	まったく あてはまらない
1	外国の人々との交流などを通して、外国の異なる文化に対する理解を深めようとしている。	4.0	-0.4	-1.9	-1.1
2	日本と外国との生活や習慣、行事などの違いを知り、外国の文化に対する理解を深めようとしている。	4.6	-0.8	-2.1	-1.0
3	関心のある事柄について、相手からの質問に対し、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	3.0	0.9	-2.6	-0.8
4	日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、相手に伝わるよう英語で話すようにしている。	3.0	2.5	-3.2	-1.7
5	趣味や好き嫌いなど、自分に関する基本的な情報を相手が読んでわかりやすいよう英語の文で書くようにしている。	5.5	-1.0	-2.9	-1.0
6	話し手の立場に立って相手の意見や考えを理解するために、英語で聞いたり、質問したり、意見を言ったりしようとしている。	4.9	-1.4	-2.1	-0.8
7	書き手の立場に立って、読んだことについて英語で質問や意見を言ったり、書き手が望む情報を提供するために交流したりしている。	3.3	4.2	-4.5	-2.2